

SNC-CH110/CH210
SNC-DH110/DH110T/DH210/DH210T

リリースノート

Ver. 1.88

2018/6/29

Sony Corporation

Release Note

変更履歴

#	リリース日	バージョン	変更内容及び、コメント
1	2010/06/17	1.12	SNC-CH210 初回リリース
2	2011/02/02	1.27.00	SNC-CH110, DH210, DH210T 初回リリース
3	2011/02/02	1.27.02	SNC-CH110 用に問題対策追加 SNC-DH110/DH110T 対応リリース
4	2011/05/10	1.33	機能改善および不具合修正 対策した問題点、既知の問題点更新 「8.6 動体検知の使用制限」における追記 「11. Ver1.27.00 で改善した問題点」における追記 「12. 既知の問題点について」における追記
5	2011/08/22	1.50	・新機能を追加、機能改善を追加 ・対策した問題点、既知の問題点を更新
6	2012/04/27	1.73	・新機能を追加、機能改善を追加
7	2012/11/05	1.76	・Ver.1.76 の新機能および改善した問題点を追加 ・6.6、16.7、16.8.を追加
8	2012/12/27	1.78	Ver.1.78 の新機能および改善した問題点を追加
9	2013/08/01	1.79	Ver1.79 の新機能および改善した問題点を追加
10	2013/09/27	1.80	Ver1.80 の改善した問題点を追加
11	2014/02/27	1.82.01	Ver1.82.01 の新機能および改善した問題点を追加
12	2014/11/10	1.85	Ver. 1.85 の新機能を追加
13	2016/12/22	1.86	Ver. 1.86 の新機能を追加 Ver. 1.86 で改善した問題点を追加
14	2017/04/25	1.87	Ver. 1.87 の新機能を追加
15	2018/06/29	1.88	Ver. 1.88 の新機能および改善した問題点を追加 既知の問題点更新 (31.8)

目 次

1. 本リリースバージョンについて	6
1.1. 全般について	6
1.2. 動作環境について	6
1.3. 互換性について	6
2. ファームウェアアップグレード	6
3. Ver.1.88 の新規追加機能について	7
3.1. セキュリティの強化対応	7
4. Ver.1.88 で改善した問題点	7
4.1. ActiveX viewer にカメラ画像が表示されないことがある問題の修正	7
5. Ver. 1.87 の新規追加機能について	7
5.1. セキュリティの強化対応	7
6. Ver. 1.87 で改善した問題点	7
7. Ver. 1.86 の新規追加機能について	7
7.1. セキュリティの強化対応	7
7.2. ONVIF Ver. 16.07 対応	7
8. Ver. 1.86 で改善した問題点	7
9. Ver. 1.85 の新規追加機能について	7
9.1. Windows 8.1 IE11 対応	7
9.2. ONVIF Ver. 14.06 対応	7
10. Ver. 1.82.01 の新規追加機能について	8
10.1. ONVIF Ver. 13.06 対応	8
11. Ver. 1.82.01 で改善した問題点	8
11.1. ファームウェア格納メモリにおけるデータエラー訂正の能力強化	8
12. Ver. 1.80 の新規追加機能について	8
13. Ver. 1.80 で改善した問題点	8
13.1. ONVIF で 1280x720 から 1920x1080 までのフレームレートが正しく設定できない不具合修正 (SNC-CH210/DH210/DH210T)	8
13.2. 起動直後の 802.1x 認証が失敗する不具合の修正	8
14. Ver. 1.79 の新規追加機能について	8
14.1. Windows8 IE10 対応	8
14.2. ONVIF Ver. 12.12 対応	8
14.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能	8
15. Ver. 1.79 で改善した問題点	9
15.1. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正	9
15.2. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正	9
15.3. ONVIF における Video Encoder Configuration 対応	9
15.4. RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加	9
16. Ver. 1.78 の新規追加機能について	9
16.1. 映像2コーデック使用設定時の動体検知	9
16.2. ONVIF Profile S 対応	9
17. Ver.1.78 で改善した問題点	9
17.1. ONVIF コマンド SetImagingSettings のパラメータ設定	9
17.2. アスペクト比変更時のソリッド PTZ 設定	10

17.3.	SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善	10
17.4.	MPEG-4 の SDP 修正	10
17.5.	ONVIF 接続時におけるソリッド PTZ 動作	10
17.6.	映像2の設定情報が呼び出しできない問題	10
18.	Ver. 1.76 の新規追加機能について	10
18.1.	CGI コマンドによる WS-Discovery 設定	10
19.	Ver. 1.76 で改善した問題点	10
19.1.	他社クライアントソフトとの接続性改善	10
19.2.	SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題	10
19.3.	動体検知中に alarmdata.cgi が 1/0 を繰り返す問題	11
19.4.	Full Duplex 通信でのスループット低下	11
19.5.	マルチキャスト配信時の応答性改善	11
19.6.	ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答	11
20.	Ver. 1.73 の新規追加機能について	11
20.1.	サポートするブラウザ	11
20.2.	映像別のマルチキャストアドレス設定	11
21.	Ver. 1.73 で改善した問題点	11
21.1.	逆光補正オン時の画像の白とび	11
21.2.	自動露出機能の異常動作	11
21.3.	ビデオコーデック設定変更時の画像輝度レベル変化	12
21.4.	Eflip の CGI コマンド受信時の画像輝度レベル変化	12
21.5.	ONVIF プロトコルの不具合	12
21.6.	RtpExpire 設定値の反映	12
21.7.	ビデオコーデック設定改善	12
21.8.	Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合	12
21.9.	Smartphone viewer のストリーム受信不具合	12
21.10.	JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正	12
22.	Ver. 1.50 の主な新規追加機能について	13
22.1.	NTCIP 対応	13
22.2.	Connection List	13
22.3.	Smartphone viewer	13
23.	Ver. 1.50 で改善した問題点	13
23.1.	SNMP 関連の設定保存	13
24.	Ver. 1.33 の主な新規追加機能について	13
24.1.	言語	13
24.2.	サポートする OS, ブラウザ	13
24.3.	ONVIF	14
24.4.	画像サイズ	14
25.	Ver. 1.33 で変更／改善された機能について	14
25.1.	プリセット名	14
25.2.	露出	14
25.3.	Absolute PTZF	14
25.4.	H.264 での画乱れ	14
25.5.	カメラ設定 画像サイズ設定の GUI 表示に関して (SNC-CH210/DH210/DH210T)....	14
26.	Ver. 1.27.02 で新規追加された機能について	15

26.1. SNC-DH110/DH110T 新機種追加対応	15
27. Ver. 1.27.02 で改善した問題点	15
27.1. 特定環境下における簡易ディナイト機能動作 不具合対応	15
28. Ver. 1.27.00 で新規追加された機能について	15
28.1. 機種追加対応	15
28.2. RTSP Multicast ストリーミング	15
28.3. 言語対応	15
29. Ver. 1.27.00 で変更／改善された機能について	15
29.1. ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフ	15
29.2. カメラ設定 フレームレート制限の GUI 表示に関して	15
29.3. 画像切り出しオンでのカメラ妨害検知不具合に関して	16
29.4. ストリーミング以外の静止画 (JPEG) の画質設定	16
29.5. MPEG-4 でのビットレート	16
29.6. 動体検知領域	16
29.7. RTSP	16
29.8. プリセットツアー	16
30. 機能について	17
30.1. デイ／ナイトモード	17
30.2. 全体画像取得時の JPEG 画質設定	17
30.3. カメラ妨害検知	17
30.4. フレームレート制限	17
30.5. 映像コーデックの使用制限	17
30.6. 動体検知の使用制限	18
30.7. プリセット位置のサムネイル表示	18
30.8. SSL	18
30.9. RTSP ストリーミング	18
31. 既知の問題点について	19
31.1. MPEG4 QCIF 設定での不具合	19
31.2. Safari について	19
31.3. IPv6 DHCPv6 について	19
31.4. RTSP	19
31.5. Smartphone viewer での長時間再生	19
31.6. Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下	19
31.7. バージョン 1.2.5.0 の SNC toolbox によるファームウェアアップグレード	19
31.8. MPEG4 設定時の RTSP ストリーミングで映像が表示されないことがある問題	19

1. 本リリースバージョンについて

1.1. 全般について

本バージョンは、Ver. 1.88 になります。

以下の機種が対象となります。

- SNC-CH110 (SYM, CN)
- SNC-CH210 (SYM, CN)
- SNC-DH110 (SYM, CN)
- SNC-DH110T (SYM, CN)
- SNC-DH210 (SYM, CN)
- SNC-DH210T (SYM, CN)

詳細内容については、本リリースノートで説明しています。

1.2. 動作環境について

カメラの映像を見たり、制御したりするコンピューターには、次の動作環境が必要です。

- OS
 - Windows 7 (32bit 版、64 bit 版)
 - Windows 8.1 Pro (32bit 版、64 bit 版)
 - 動作検証済みエディション:
 - Windows 7 : Ultimate、Professional
 - Windows 8.1 : Pro
 - Microsoft DirectX 9.0c 以上
- Webブラウザ
 - Microsoft Internet Explorer Ver. 11.0 (Windows 8.1 デスクトップモードのみ対応)
 - Firefox Ver.50.1 (Plug-in free viewer のみ対応)
 - Google Chrome Ver.55.0 (Plug-in free viewer のみ対応)
- CPU
 - Intel Core 2 Duo、2 GHz 以上
- メモリ
 - 1 GB 以上
- ディスプレイ
 - 1600 × 1200 画素以上 (SNC-CH110/DH110/DH110T)
 - 1600 × 1200 画素以上 (2560 × 1600 画素以上を推奨) (SNC-CH210/DH210/DH210T)

1.3. 互換性について

本バージョンでは、CGIコマンド、RTSP その他のネットワークプロトコル、ストリーミングに関するデータフォーマットにおける変更はありません。外部接続機器との相互接続性に対して Ver1.87 との互換性があります。

2. ファームウェアアップグレード

ファームウェアのアップグレードを行う場合は、SNC toolbox (Ver. 1.3.8.0 以降) を使用してください。SNC toolbox が対応するカメラの詳細については、SNC toolbox のリリースノートを参照してく

ださい。使用方法に関してはユーザーガイドの“SNC toolbox を使う”を参照してください。

3. Ver.1.88 の新規追加機能について

3.1. セキュリティの強化対応

4. Ver.1.88 で改善した問題点

4.1. ActiveX viewer にカメラ画像が表示されないことがある問題の修正

Internet Explorer (IE) でカメラに接続した際に、ActiveX viewer(および動体検知設定のモニター画面)の左上に×マークが表示され、カメラ画像が表示されないことがある問題を修正しました。
(Ver. 1.87 からの問題)

5. Ver. 1.87 の新規追加機能について

5.1. セキュリティの強化対応

【ご注意】ActiveX のインストールに失敗する場合は、最新の Windows セキュリティパッチを当ててください

6. Ver. 1.87 で改善した問題点

本バージョンで改善した問題点はありません。

7. Ver. 1.86 の新規追加機能について

7.1. セキュリティの強化対応

7.2. ONVIF Ver. 16.07 対応

ONVIF Device Test Tool Version 16.07 で適合検証を行っています。

8. Ver. 1.86 で改善した問題点

カメラ電源投入時に、ごくまれに起動に失敗することがある問題がありましたので、修正しました。
(Ver 1.12 からの問題)

9. Ver. 1.85 の新規追加機能について

9.1. Windows 8.1 IE11 対応

Windows 8.1 で動作するデスクトップユーザーインターフェース版の Internet Explorer11 (IE11) に対応しました。また、Windows 8.1 のスタート画面から起動された IE11、および Windows 7 版の IE11 での動作確認は行っておりません。

9.2. ONVIF Ver. 14.06 対応

ONVIF Device Test Tool Version 14.06で適合検証を行っています。

10. Ver. 1.82.01 の新規追加機能について

10.1. ONVIF Ver. 13.06 対応

ONVIF Device Test Tool Version 13.06で適合検証を行っています。

11. Ver. 1.82.01 で改善した問題点

11.1. ファームウェア格納メモリにおけるデータエラー訂正の能力強化

メモリの一部の領域でデータが壊れた場合に、電源をOFF/ON、もしくはリブートした後に、機器が起動しない、一部の機能が正常動作しない等の症状が発生する可能性があります。このため、エラー訂正能力を強化しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

12. Ver. 1.80 の新規追加機能について

ありません。

13. Ver. 1.80 で改善した問題点

13.1. ONVIF で 1280x720 から 1920x1080 までのフレームレートが正しく設定できない不具合修正 (SNC-CH210/DH210/DH210T)

H.264コーデックで1280x720から1920x1080までの画像サイズが選択されている場合、ONVIFコマンドにおけるフレームレート設定が正しく反映されない不具合がありました。(CGIコマンドにおいて、不具合はありません。)本バージョンにて修正しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

13.2. 起動直後の 802.1x 認証が失敗する不具合の修正

802.1x認証機能付きのPoE Hubとの接続において、起動時に802.1x認証が失敗する不具合がありました。本バージョンにて修正しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

14. Ver. 1.79 の新規追加機能について

14.1. Windows8 IE10 対応

Windows 8 で動作するデスクトップユーザーインターフェース版の Internet Explorer10 (IE10) に対応しました。また、Windows 8 のスタート画面から起動された IE10、および Windows 7 版のIE10での動作確認は行っておりません。

14.2. ONVIF Ver. 12.12 対応

ONVIF Device Test Tool Version 12.12で適合検証を行っています。

14.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能

CGIのカテゴリに userdata.cgi を追加し、パラメータ RTPUserData の値を on へ変更することで、RTPストリームへ UserData を付加できる機能を追加した。(デフォルトはoffでUserDataなし。)

http://ip_adr/command/userdata.cgi? RTPUserData=on

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください

15. Ver. 1.79 で改善した問題点

15.1. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正

ONVIFにおいて、CET-1、IDLWのタイムゾーン設定ができなかったため、修正しました。また、GMTからのオフセット時間設定もできるように修正しました。(例えば、US、CANADAは「GMT-5」のように設定できます。ただし、分、秒単位のオフセット設定は対応していません。)
(Ver. 1.12 からの問題)

15.2. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正

デフォルト値と異なるPort番号が設定されている場合、ONVIFにおけるDevice Service AddressのPort番号付与ができていなかったため、変更後のPort番号を付与するように修正しました。
(Ver. 1.12 からの問題)

15.3. ONVIF における Video Encoder Configuration 対応

ONVIFにおいてVideo Encoder Configurationによる映像2側の問い合わせ、および設定ができない不具合がありました。同不具合に対して、映像1に依存して決定する映像2の設定パラメータを算出し、問い合わせへの応答、および設定ができるように修正しました。
また、RTSP セッションタイムアウト設定もできるように修正しました。(PTxxHxxMxxS表記の対応、および600秒を超える場合は、最大値の600秒として設定するようにしました。)
(Ver. 1.12 からの問題)

15.4. RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加

RTSPにおけるPLAYの応答において、RTP-Infoヘッダを付加できるように修正しました。下記のCGIコマンドにおいて、RTPInfoパラメータをonすることで付加されます。(デフォルトはoffでなし。)

http://ip_addr/command/camera.cgi?RTPInfo=on

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください
(Ver. 1.12 からの問題)

16. Ver. 1.78 の新規追加機能について

16.1. 映像2コーデック使用設定時の動体検知

映像2のコーデック使用設定時にも動体検知機能を使用できるようにしました。この時、映像2にスーパーインポーズは表示できません。

16.2. ONVIF Profile S 対応

ONVIF Profile Sに対応しました。ONVIF Device Test Tool Version 12.06で適合検証を行っています。

17. Ver.1.78 で改善した問題点

17.1. ONVIF コマンド SetImagingSettings のパラメータ設定

ONVIFコマンドSetImagingSettingsで指定するBrightness及びColorSaturationのパラメータを小数で指定すると、“HTTP/1.1 400 Bad Request”の応答が返る問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

17.2. アスペクト比変更時のソリッド PTZ 設定

アスペクト比を変更してもソリッドPTZ設定が工場出荷設定であるオフに戻らない問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

17.3. SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善

SSL有効時のストリーミング画像のフレームレートを従来よりも向上させました。

(Ver. 1.12 からの問題)

17.4. MPEG-4 の SDP 修正

RTSPで使用するMPEG-4のSDP(Session Description Protocol)情報の最後に余分なデータ4バイトが付加されていましたので削除しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

17.5. ONVIF 接続時におけるソリッド PTZ 動作

ONVIF 接続時の Absolute Pan/Tilt/Zoom 操作及び Relative Pan/Tilt/Zoom 操作に対応しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

[注意]

- Relative PanTilt と Relative Zoom の同時操作には対応していません。
- Continuous Pan/Tilt/Zoom 操作には対応していません。

17.6. 映像2の設定情報が呼び出しできない問題

映像2の設定情報が正しく呼び出しできない場合がある問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

18. Ver. 1.76 の新規追加機能について

18.1. CGI コマンドによる WS-Discovery 設定

CGIコマンドの設定によりONVIFで使用するWS-Discoveryプロトコルを作動させないように出来ます。この時、239.255.255.250宛のマルチキャストJoinメッセージは起動時に発行されません。

http://ip_adr/command/system.cgi?WsDiscovery=off

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

19. Ver. 1.76 で改善した問題点

19.1. 他社クライアントソフトとの接続性改善

Genetec製Omnicastクライアントソフトとの接続が切れてしまうことがある問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.33 からの問題)

19.2. SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題

SSL有効時にalarmdata.cgiが送信されない問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.33 からの問題)

19.3. 動体検知中に alarmdata.cgi が 1/0 を繰り返す問題

動体検知中にもかかわらず alarmdata.cgi が検知/非検知を示す 1/0 を繰り返す問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

19.4. Full Duplex 通信でのスループット低下

CGI コマンドによりイーサネット通信モードを 10Mbps または 100Mbps の Full Duplex 固定に設定すると、ネットワークスループットが低下する問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

19.5. マルチキャスト配信時の応答性改善

マルチキャスト配信時の CGI コマンドに対する応答性を改善しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

19.6. ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答

ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration 要求に対して、“HTTP/1.1 500 Internal Server Error” の応答が返ることがありましたので修正しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

20. Ver. 1.73 の新規追加機能について

20.1. サポートするブラウザ

Microsoft Internet Explorer Ver. 9.0 に対応しました。

20.2. 映像別のマルチキャストアドレス設定

映像 1、映像 2 ごとに個別のマルチキャストアドレスを設定および配信することを可能にしました。詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

[注意]

- 本機能は ActiveX viewer、設定画面、SNC toolbox からは使用できません。

21. Ver. 1.73 で改善した問題点

21.1. 逆光補正オン時の画像の白とび

逆光補正をオンに設定して起動すると、画像が白とびしてしまう問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

21.2. 自動露出機能の異常動作

自動露出機能が正常に動作せず、画像が白とびしてしまう場合がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.12 からの問題)

21.3. ビデオコーデック設定変更時の画像輝度レベル変化

ビデオコーデックのフレームレートまたはビットレートの設定が行われた際に、画像の輝度レベルが一瞬変化する問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.12からの問題)

21.4. Eflip の CGI コマンド受信時の画像輝度レベル変化

EflipのCGIコマンド受信時に設定変更していないにもかかわらず、画像の輝度レベルが一瞬変化する問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.12からの問題)

21.5. ONVIF プロトコルの不具合

GetVideoSourceConfigurationOptionsRequestでConfig.Profileの指定がない時

GetVideoSourceConfigurationOptionsResponseにVideoSourceTokenAvailableフィールドがない不具合を修正しました。

(Ver. 1.12からの問題)

21.6. RtpExpire 設定値の反映

CGIパラメータRtpExpireの値を変更した場合、リブートを伴わないと反映されないという問題がありましたので修正しました。

この修正により、リブートは不要となり、RtpExpireの値を変更した際に反映されるようになります。

(Ver. 1.12 からの問題)

21.7. ビデオコーデック設定改善

ビデオコーデックのフレームレートまたはビットレートの設定が行われた際に、変更が反映されるまでに約3秒間程度要していましたが、今回の改善により変更反映時間を約1/10程度に短縮しました。

(Ver. 1.12からの問題)

21.8. Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合

Smartphone viewer使用時、Landscape modeで表示した際に画面下部が表示されない問題がありましたので、修正しました。アスペクト比を保持したまま表示領域内に全画面を表示しますので、左右に黒帯が表示されることがあります。

(Ver. 1.50からの問題)

21.9. Smartphone viewer のストリーム受信不具合

Smartphone viewer使用時、ネットワークメニューの「HTTPポート番号」を既定値の80番以外に変更するとストリームを受信出来ない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.50からの問題)

21.10. JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正

JPEGのRTPパケットヘッダ部のFragment Offset値がRFC規定値と異なっている問題がありましたので、修正しました。

互換性保持のために従来と同じ値で使いたいクライアントのために次のCGIコマンドを用意しました。

http://ip_adr/command/camera.cgi? RTPMJPEGOffset=off

詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

(Ver. 1.12からの問題)

22. Ver. 1.50 の主な新規追加機能について

22.1. NTCIP 対応

NTCIP(National Transportation Communications for ITS protocol)は、米国で標準化されている交通監視用のプロトコルです。現在米国VidSys社製のVidShieldソフトからプリセット登録及び呼び出し、PTZ制御等が行えます。

管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

22.2. Connection List

ストリーミングの配信先に関する情報を取得するための機能です。どのクライアントがストリーミングを受信しているかを知るために使用します。

ストリーミング配信先のIPアドレス及びポート番号、HTTPあるいはUDP等の使用されているプロトコル、H.264等のメディアの種類等の詳細情報をセッション毎に取得することが出来ます。

CGIコマンドで対応しています。管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

22.3. Smartphone viewer

スマートフォンからアクセスして、映像を表示したり、PTZ操作をするためのスマートフォン用のビューアーです。

本機能のユーザーマニュアル及びサポート情報は下記のサイトに置いてありますので、参照して下さい。

<http://www.sony.net/ipela/snc>

23. Ver. 1.50 で改善した問題点

23.1. SNMP 関連の設定保存

バージョンアップを行った時や設定呼び出しを行った時にSNMP関連の設定が保存されない場合がありますので修正しました。Ver. 1.50より以前のバージョンからバージョンアップする場合やVer. 1.50より以前のバージョンで設定保存を行ったファイルから設定呼び出しを行う場合は、必要なSNMP関連の設定値は控えておき、バージョンアップまたは設定呼び出し後に再設定してください。

(Ver. 1.12 からの問題)

24. Ver. 1.33 の主な新規追加機能について

24.1. 言語

ポルトガル語が使用できるようになりました。

24.2. サポートする OS, ブラウザ

64bit 版 Windows 7 に対応しました。

動作検証済みエディション

- Windows 7 Professional

24.3. ONVIF

ONVIF Core Spec Version 1.02 に対応しました。

24.4. 画像サイズ

画像サイズに、800×600 を追加しました。

25. Ver. 1.33 で変更／改善された機能について

25.1. プリセット名

プリセット名に全角文字を使用出来るようになりました。

ただし、スーパーインポーズでは、全角文字は表示されません。

25.2. 露出

カメラ設定、画像タブにおいてシャッタースピードを下限から上限までを設定するようにUIを変更しました。また、これに伴い CGI コマンドに AutoShutterMaxSpeed, AutoShutterMinSpeed を追加しました。

【ご注意】

- Ver. 1.33 より前のバージョンから、Ver. 1.33 以降のバージョンへバージョンアップした際、UI に表示されている値と実際の動作が異なる場合があります。その際は、UI で設定しなおしてください。
- 新しく追加された CGI (AutoShutterMaxSpeed, AutoShutterMinSpeed) を使用する場合は、AutoShutter と AutoSlowShutter を ON にしてください。

25.3. Absolute PTZF

Ver. 1.27.02 以前のソリッド PTZ 機能を持つ機種では画面右下が正の方向でしたが、他の機種に合わせるため画面右上を正の方向に変更しました。Ver. 1.27.02 以前と同じ動作にする(画面右下を正の方向にする)場合は、camera.cgi SolidPTZTiltDirection を “down” に設定してください。

Ver. 1.33 以降ではデフォルトで、camera.cgi SolidPTZTiltDirection の設定が “up” になっているため、以前のファームウェアとは上下が逆に動作します。詳細は、CGI マニュアルを参照してください。

25.4. H.264 での画乱れ

ビデオコーデックに H.264 を指定し、ActiveX Viewer で画像を表示していると、動きのある箇所の画像が乱れることがありましたので、修正しました。

25.5. カメラ設定 画像サイズ設定の GUI 表示に関して (SNC-CH210/DH210/DH210T)

映像 1 で 1280×960 を設定している際に、映像 2 で設定できない 1280×960 が表示されていました。Ver. 1.33 より、映像 1 の 1280×960 設定時、映像 2 で設定可能な最大画像サイズを 640×480 に修正しました。

(Ver. 1.27 からの問題)

26. Ver. 1.27.02 で新規追加された機能について

26.1. SNC-DH110/DH110T 新機種追加対応

本バージョンでは、SNC-DH110/DH110T のハードウェアを認識して動作させる対応を行っています。

Active X Viewer では、表示される機種名として SNC-DH110/DH110T を追加しました。

27. Ver. 1.27.02 で改善した問題点

27.1. 特定環境下における簡易ディナイト機能動作 不具合対応

CH110 の Ver. 1.27.00 において工場出荷設定から簡易ディナイト機能を Auto に設定している場合、映像が白黒に変わるタイミングで周辺照度が明るくなると、スローシャッタースピードのまま戻らず、適正な露出に合わないケースが発生しましたので、修正しました。

28. Ver. 1.27.00 で新規追加された機能について

28.1. 機種追加対応

本バージョンでは、SNC-CH110/DH210/DH210T のハードウェアを認識して動作させる対応を行っています。

Active X Viewer では、表示される機種名として SNC-CH110/DH210/DH210T を追加しました。

28.2. RTSP Multicast ストリーミング

RTSP を使用した Multicast ストリーミング要求に対応しています。

28.3. 言語対応

下記の言語に対応しています。

- 繁体字中国語
- 韓国語

29. Ver. 1.27.00 で変更／改善された機能について

29.1. ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフ

ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフを用意しました。詳細は、CGI マニュアルを参照してください。

29.2. カメラ設定 フレームレート制限の GUI 表示に関して

SNC-CH210、DH210/DH210T において、映像 1 で以下の画像サイズが選択されている場合は、映像 1、映像 2 とともに最大フレームレートが 15fps までに制限されています。

- 16:9 モード時:1680x1056 (WSXGA) 以上
- 4:3 モード時 :1600x1200 (UXGA) 以上

Ver. 1.12.00 では、上記の場合でも映像 2 のフレームレート設定が 15fps より大きいパラメータを選

扱できてしまいましたが、Ver. 1.27.00 では 15fps までを選択範囲とし、実際の動作へ GUI を合わせました。

29.3. 画像切り出しオンでのカメラ妨害検知不具合に関して

Ver. 1.12.00 において、画像切り出し時にはカメラ妨害検知が正常に動作していない不具合がありましたので修正しました。

29.4. ストリーミング以外の静止画 (JPEG) の画質設定

メール、FTP クライアント、イメージメモリー機能で使用する静止画 (JPEG) の画質設定が固定になっていましたので、修正しました。

29.5. MPEG-4 でのビットレート

ビデオコーデックに MPEG-4 を選択し低いビットレートを指定すると、指定のビットレートよりも高いストリームデータが送信されることがありましたので、修正しました。

29.6. 動体検知領域

動体検知の検知領域が矩形でない時、設定の保存、読み出しを行った場合、検知領域が設定された通りに復帰しない問題がありましたので、修正しました。

29.7. RTSP

コーデックの設定を変更すると、RTSP/RTP/UDP のストリームが取得できない場合がありましたので、修正しました。

RTSP の接続切断の繰り返しで、映像が出なくなる場合がありましたので、修正しました。

JPEG の画像サイズが 280Kbyte を超えると映像が出ない問題がありましたので、修正しました。

コーデックを切り替えながら RTSP の接続切断をすると、映像が出ない場合がありましたので、修正しました。

29.8. プリセットツアー

ツアーの 1 番目に登録されているプリセット位置と同じ位置にカメラが向いている時、プリセットツアーが開始されない場合がありましたので、修正しました。

また、プリセットツアー機能を有効にした状態で電源を投入した際に、最初に登録したプリセット位置をスキップしてツアー動作を行ってしまう場合がありましたので、修正しました。

30. 機能について

30.1. デイ／ナイトモード

「画像」タブの「露出」設定において、「露出補正」を大きくしている場合、もしくは「AGC」の値を制限している場合に、デイ／ナイト切り替えが正常に行われなかった場合があります。正常な切り替えが出来ない場合は、露出補正を小さくするか、「AGC」の設定値を大きくしてください。

30.2. 全体画像取得時の JPEG 画質設定

全体画像の取得をする場合に JPEG の画質設定が可変になります。ビデオ - コーデック設定の映像1で JPEG を選択し、画質設定を行うと、それが全体画像取得時の画質設定と同等になります。

30.3. カメラ妨害検知

カメラ妨害検知の設定がオンの場合、カメラを起動させてからカメラ妨害検知が開始されるまで約2分間かかります。その間は、カメラ妨害検知をトリガーにしている機能が動作しないので待ってください。

GUI において 'Clear' ボタンを押下した場合はカメラ側の検知状態を '未検知' にして表示も正しく更新されますが、検知後の検知状態は 'カメラ妨害検知' タブを押下するなどして同ページを再描画しないとカメラ側の状態を正しく更新できません。

システムのスーパーインポーズ設定において、それぞれの映像に 'イベント' 表示が設定されている場合は、妨害が検知されると 'Tampering' という表示が約 10 秒間保持されます。この間に 'Clear' ボタン押下にて検出状態を '未検知' とした場合でも、同表示は保持されているのでご注意ください。

30.4. フレームレート制限

H.264 および MPEG4 ではコーデックの処理能力により選択された画像サイズから設定可能なフレームレートが表示されますが、使用されるストリーム数等により実際のフレームレートが設定よりも小さな値になる場合があります。

JPEG においても、画質設定やストリーム数に応じて設定可能なフレームレートが同様に制限されます。

30.5. 映像コーデックの使用制限

工場出荷設定においては、映像1にて H.264 1280x720 30fps が選択されていますが、映像2を使用する場合は映像1のコーデックを MPEG4 へ切り替えるか、画サイズ、もしくはフレームレートを小さくしてください。

また、H.264 および MPEG4 においてはビットレートにより圧縮効率が決定されています。画質の向上を期待する場合はビットレートを大きくすることで改善されますが、ネットワークへの負荷を十分に配慮し、実際の動作環境での確認を必ず行ってください。

JPEG が選択されている場合は、画質設定の Level をあげることで画質が向上しますが、帯域制限をかけることでストリームの送出手が正常に行われなかった場合があります。動作確認を行ってから設定を行ってください。

30.6. 動体検知の使用制限

システムのパフォーマンス制約のため、動体検知を使用する際は以下の設定をして下さい。

- 映像 2: OFF
- 画像切り出しモード: OFF
- ソリッド PTZ モード: OFF
- モニターアウト: OFF

また、検知感度を大きくすることにより、最小検知サイズの動体を正常に検知することができない場合があります。このような場合は、検知感度を小さくするか、最小検知サイズを大きくして正常に検知できる条件でお使いください。

30.7. プリセット位置のサムネイル表示

ファームウェアのアップグレード時には、プリセット位置のサムネイル表示は引継がれません。

30.8. SSL

Windows VISTA または Windows 7 を使用し、SSL でアクセスする場合、Active X Viewer や動体検知画面が開けない場合があります。開けない場合は、以下の設定を行ってください。

1. ツール(T)から インターネットオプション(O)を開きます
2. セキュリティタブへ移動します
3. セキュリティレベル設定にて [信頼済みサイト]を選択します
4. [サイト(S)]ボタンをクリックします
5. [次の Web サイトをゾーンに追加する] にカメラのアドレスを入力します。必ずプロトコル (<https://>)を付加して下さい。
6. [OK]ボタンを押下し、設定を終了します

30.9. RTSP ストリーミング

RTSPストリーミングはパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

H.264/MPEGを使用する場合は、以下の通り

- ビデオ出力: OFF
- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数: 2
- 接続ビットレートの合計: 4Mbps以下

JPEGを使用する場合は、以下の通り

- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数: 1
- フレームレート: 10fps以下
- 画質設定: Level 4以下
- 画サイズ: VGA以下

31. 既知の問題点について

31.1. MPEG4 QCIF 設定での不具合

コーデックが MPEG4、および画像サイズが QCIF にそれぞれ設定されている場合、起動時の ActiveX viewer において映像が正常に出力されない場合が稀に発生します。このような症状が発生した場合は、'ActiveX' ボタン押下による再描画を行うか、他の画像サイズへ切り替えた後に QCIF への再設定を行うことで正常に表示されます。

31.2. Safari について

Safari4 または 5 にて Plug-in free viewer のストリーム方法にて JPEG を使用した場合は、メモリ使用量が増加し、Safari が異常停止することがあります。長時間の連続再生を行う場合は、ストリーム方法を JPEG Flash で使用するか、他のブラウザをご使用ください。

31.3. IPv6 DHCPv6 について

IPv6 環境で、DHCP v6 サーバーとして Windows Server 2008 を使用している場合、IP アドレスを正しく割り当てられないことがあります。このような環境下では、IPv6 ステートレスアドレス自動設定を使用してください。

31.4. RTSP

推奨設定以上の設定で使用する場合、機器が再起動することがあります。

31.5. Smartphone viewer での長時間再生

カメラのビデオコーデックにおいて大きな画像サイズが設定されている場合、長時間ビューアーを開いているとビューアーが停止することがあります。その際は再度ビューアーを起動し直してください。

31.6. Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下

Xperia™ arc では、PTZ ボタンを複数個同時に押すとカメラの PTZ 動作が動き続けることがあります。動作を止めるには、押したボタンのいずれかを再度押し直してください。

31.7. バージョン 1.2.5.0 の SNC toolbox によるファームウェアアップグレード

バージョン 1.2.5.0 の SNC toolbox においては、デフォルト値以外のユーザー名、パスワードの設定がファームウェアアップグレード後に保持されていない不具合が見つかりました。ファームウェアをアップグレードしたい場合は、バージョン 1.2.6.0 以降の SNC toolbox をお使いください。

31.8. MPEG4 設定時の RTSP ストリーミングで映像が表示されないことがある問題

RTSP ストリーミングでビデオコーデックを MPEG4 に指定した場合、一部のビューワーで映像が表示されないことがあります。その際は他のビューワーを使用するか、ビデオコーデック設定を H.264 に変更してください。

(全機種共通)